

# グリーンプラン・パートナーシップ事業(2号事業) 概要説明

1. 事業概要			
実施主体	神奈川県 藤沢市	実施場所	神奈川県 藤沢市
共同実施者	—	推薦者	—
2. 事業内容			
事業名称	「(仮称)藤沢市エネルギーの地産地消推進計画」の策定		
検討対象設備等	太陽光発電、燃料電池、ガスコジェネ、廃棄物発電		
26年度補助金交付希望額	9,833,000円		
事業内容	<p>①太陽光発電: 公共施設、オフィスビル、工場、休耕地などから、費用対効果が高いと見込まれる100箇所を選定して、導入可能性調査。                  ②燃料電池: 家庭用・事業用燃料電池に関する普及方策検討。燃料電池自動車・水素ステーションの誘致に関する検討。                  ③新駅へのガスコジェネ導入に向け、事業化計画策定(駅周辺の電熱需要調査、システム方式の選択、事業運営主体の検討、事業化収支計算等)。                  ④廃棄物発電: 既存の廃棄物発電電力の更なる活用に向けた関係主体との調整、事業スキーム検討等。</p>		
3. 設備導入予定等			
設備導入予定	本事業のFS調査を通じ、設備の設置場所、削減ポテンシャル、施策を実施するに当たっての課題と対応策を整理した上で、市の地球温暖化対策実行計画に掲げた13の重点プロジェクトのうち、「太陽光発電システム設置推進PJ」、「家庭用燃料電池システム設置推進PJ」、「Fujisawaサステナブル・スマートタウンPJ」、「エネルギーの地産地消PJ」の4プロジェクトの下、これらを総合的な事業として実施する。		
副次的効果	官民連携での設備導入による地域経済の活性化、市内4大学との連携による温暖化防止に関する人材育成、エネルギーの自立化による防災力強化		